



かがみ

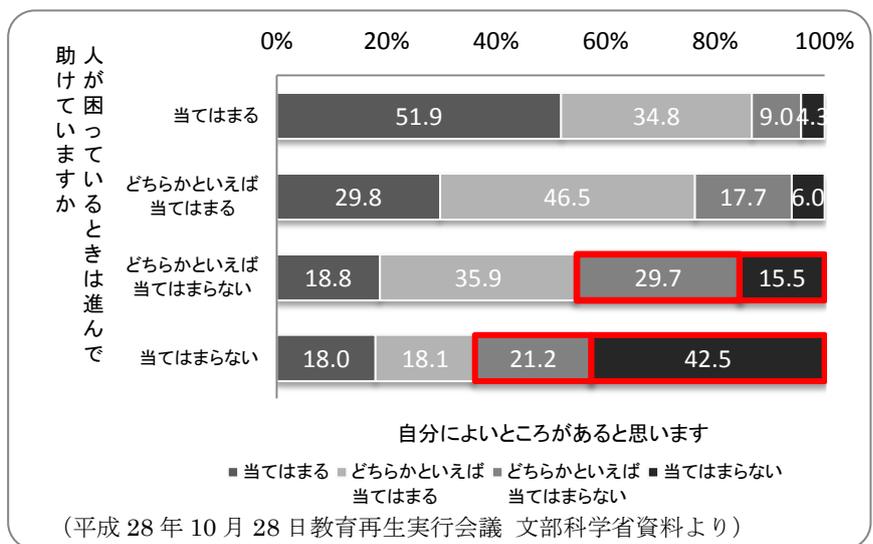


自尊感情を育み、健やかな成長を

最近、新聞やテレビなどで「自尊感情」という言葉をよく耳にします。「自尊感情」とは、自分自身を価値のある存在としてとらえる肯定的な感情です。一般に自尊感情が高い子どもは、自分を大切に思うことができるため、他者から批判されても適切に対処し、新しいことにも積極的に取り組んでいける傾向にあります。

反対に、いじめ行為や暴力、不登校等の課題を抱えている子どもほど自尊感情が低いといわれています。低くなった自尊感情を保とうとするために、自分より弱い立場の人に向かったり、自分を守るために不登校などによって他者との接点をもたなくなったりするケースが少なくありません。

平成28年度全国学力・学習状況調査では、「人が困っているときは進んで助けている」が低い児童生徒ほど、「自分にはよいところがある」と回答した割合が低い結果となっています。(右図参照)



規範意識や人間関係づくり等に課題をもつ子どもに対しては、自尊感情を高めることが重要となります。

自尊感情を高めるには、その子なりの努力や成長、よさを認め、「自分はこのままでいいんだ。」という安心感をもたせることが大切です。自尊感情が高くなれば、自分自身に対してばかりでなく、相手を尊重し、「他者との関係をむやみに壊したくはない」という思いから、規範意識も高められ、よりよい人間関係の構築につながっていきます。家庭や学校、地域が温かいまなざしをもって子どもを見守り、ありのままの姿を肯定的に受け止め、その子のもつよさを心からほめていくことで、自尊感情を育てていきましょう。

「市民の集い」(11月18日開催)にお越しください

「子ども・若者育成支援強調月間」の11月に、次代を担う青少年の健全育成を市民総ぐるみで推進するため、意識啓発と心がふれあう地域活動や育成活動の活性化を目的として、「市民の集い」を開催します。

お気軽にご来場ください。お待ちしております。〔無料です〕

※広報はちのへ11月号に記載されている日時(11月12日)は誤りです。申し訳ありませんでした。

【日時】平成29年11月18日(土)
13:30~15:30

【場所】八戸市総合福祉会館(多目的ホール)
(はちふくプラザねじょう)
〈根城八丁目8-155〉

【主催】八戸市青少年健全育成
「愛の一声」市民会議

【問合せ】八戸市教育委員会
0178-43-2111(内6113)坂本

【内容】

○講演「話す」

講師：株式会社ビーエフエム 大地 球 氏

○児童生徒郷土芸能発表

金浜小「よっちょれ・金浜ソーラン」根岸小「根岸っ子虎舞」

○児童生徒弁論発表…お話し弁論・防犯弁論の最優秀者の発表

・松倉 花奈(第一中学校3年)「笑顔をつなぐ地域の見守り」

・久保沢 紗良(町畑小学校6年)「障がい個性」

・白石 穂花(島守中学校2年)「二つの命」

地域に支えられ、夢を育むグッジョブウィーク

今年で18年目となる「さわやか 八戸 グッジョブウィーク」は、中学2年生を対象に市内の全市立中学校で実施され、今年度はおよそ2100名が参加しています。数日間の職場体験や福祉・ボランティア体験を通して、自分の興味・適性を考え、将来の進路について真剣に考えようとする生徒の姿が見られています。

また「地域の子どもは地域で育てる」という視点で展開されるこの事業は、学校・家庭・地域社会の三者がそれぞれの役割を明確にし、準備段階からの連携が不可欠となります。事業の実施にあたっては、毎年、地域の方々の温かい御理解と御協力をいただき、深く感謝いたします。

ここでは、コンビニエンスストアでグッジョブウィークを体験した中学生の感想文を紹介します。

この経験を生かして

八戸市立三条中学校 上野 登季菜



私はグッジョブウィークでコンビニエンスストアに行きました。職場体験はとても楽しみでもありましたが、不安のほうが多くありました。私は、人とのコミュニケーションを上手にとることができません。これが私のコンプレックスであり、不安な点でもありました。

グッジョブウィーク初日、緊張しながら仕事場へ向かうと、お店の方は笑顔で迎えてくださいました。初めは掃除などの基本的な仕事からです。トイレ掃除や店の外の掃除。掃除にもたくさんの種類があります。また、お客様が来店されたら、「いらっしゃいませ、おはようございます。」のあいさつが大切です。私は、一つのことに集中してしまうと周りが見えなくなってしまうので、仕事で手を動かしながらのあいさつは大変でした。初めのうちは緊張と恥ずかしさで、地域や学校でのあいさつとはほど遠い元気のないあいさつになってしまいました。二日目、三日目と私にできる仕事は増えてきましたが、その数の多さに体力と気力が追いつきませんでした。仕事は時間帯によって変わってくるため、決められた時間の中で効率よくおかつ丁寧にこなさなければなりません。丁寧にこなす面ではお店の方にもほめていただきましたが、効率よい仕事ぶりかと言えば、そうではありません。商品登録をしてから棚へ並べることがどうしてもスムーズにできませんでした。

中学校生活ではできていると思っても、社会に出て大人の方々と比較すると明らかに未熟です。私には思っていた以上に多くの課題がありました。しかし、思っていた以上にできているところもありました。それは指示をしっかりと聞くこと、人との関わり方です。お店の方に指示されたことはもちろんしっかりとやり遂げますが、他に私なりに気づいたことがあったら意見を言うという積極性も知らず知らずのうちに身につけていました。また、苦手だったはずのコミュニケーションをとれるようになっていました。自分では今まで気がつくことのできなかつた新たな一面を発見することができました。

今回のグッジョブウィークで学んだことは大きく分けて二つあります。一つ目は働くことの大変さです。想像していた以上に気配りをしなければならないし、自分のミスがお客様だけでなくお店側にも影響してしまいます。自分の行動一つ一つに責任をもたなければならないことを学びました。二つ目は、達成感ややりがいを感じたことです。一日ごとに担当する仕事が増え、大変でしたが、嬉しさややりがいを感じました。働くうえでも、日常生活でも人のために自ら行動することの大切さを思い知らされました。

この学びを今後の学校生活に生かし、もっともっと自分を磨いていきたいと思います。

各校とも参加した生徒は、様々な体験の中で多くの発見や感動があったと思います。どうぞ御家庭でもお子さんの体験談をお聞きください。



〔写真は、三条中学校と第三中学校の今年度の活動の様子です〕